

建築と社会

Architecture and Society

12 vol.97 No.1137

2016

特集予告

01 02
月号 月号
・第23回私の空間作法
・ニュータウンから学ぶこれからの「計画」

今月の表紙

三栖閘門 (1929)



三栖閘門は、宇治川と濠川（高瀬川）が合流する地点に設けられた閘門である。ここは、かつて豊臣秀吉が治水と水運ルートの確保のために築いた伏見港でもある。その後、江戸時代に角倉了以らによって高瀬川が開削され伏見港と京がつながり、大正から昭和にかけてこの閘門が建設されたのである。

この場所は、各時代の先人達の熱意と技術が、層のように重なり積もっている。

建築や土木に携わる人間の使命のひとつに、「過去から多くのことを受け継ぎ、それを未来の人たちに託す」ということがあるだろう。そのようにして歴史はつくられてきたし、未来はつくられていく。

1年をかけて人工河川を巡る旅はここが終着です。ありがとうございました。

(多田正治)

撮影 山羊 昇
表紙デザイン 多田正治(多田正治アトリエ)

特集：ボーダレス ～消失する境界と拡張する領域

目次

【総論】

クライアント・エンパワーメント時代の建築～新しい仕事のしかた～
| 倉方俊輔 10

【各論】

- 1 篠山城下町ホテルNIPPONIA～歴史地区の再生～ | 金野幸雄 14
- 2 ボーダレスな銀行～枚方T-SITE・生活提案の場としての銀行の挑戦～
| 対談：池田博之・吉富 聡・黒柳 亮 16
- 3 過疎化集落→町をITオフィス化への取り組み | 影治信良 18
- 4 サードプレイスにおける利用者の多様性とコミュニケーションが生み出すもの | 小林重人 20
- 5 食堂付きアパートー《小さな経済》をテコに開かれた生活環境をつくる
| 仲 俊治 22
- 6 私たちにとっての建築という出来事 設計と運営に関わるCASACOでの実践を通して
| 富永美保+伊藤孝仁 24

【編集後記】 26

連載	会告	平成28年度建築工事実務講習会（本部、東海支部） 平成28年度建築工事実務講習会（中国支部）/日本建築協会東海支部共催 日本左官会議講演会・名古屋編 職人がいる町、塗り壁のある暮らしーその終焉がもたらすもの 創立100周年イベント 近代建築見学会ー大阪の都市景観再見ー	1 2
	作品作風	太陽工業事務所/太陽工業御陵通給油所 清水建設株式会社四国支店	4 6
	gallery	今を生きる ー三木市・吉川の古民家ー 森田 徹	8
	法令コーナー	「しがの流域治水」家づくりでも治水 田井中繁美	27
	建築と社会を考える	風景を使いこなすデザイン パブリック・スペースにおけるランドスケープ・リノベーション 忽那裕樹	28
	設備の頁	電界結合方式による走行中給電技術の開発 遠藤哲夫 崎原孫周	32
	Member's Forum	U-35委員会企画 talk baton 10 活動報告	34
	記事広告	技術開発と技術者育成にこだわる 地盤改良技術 エスエスティー工法 株式会社エスエスティー協会	36
	information	ルーヴル美術館特別展 ルーヴルNo.9 ～漫画、9番目の芸術～/わだばゴッホになる 世界の棟方志功/特別企画展 コレクションの愉しみー印判手の皿とアジアの風ー/特別追悼展 高倉健	38
	第97集総目録	2016（平成28）年	41
	月間の動き	平成28年10月	44